

産 科 ・ 婦 人 科

1 教育目標

(1) 一般目標

産婦人科における医学的知識と診療技能を習得するために診療チームの一員として患者さんに関わりながら、医師として基本的に必要な産科的・婦人科的知識・診療技能・態度・思考を習得する。常に、科学的探求心をもち、実習に参加する。産科学は妊娠・分娩・産褥経過における正常と異常を理解し、臨床実習にて妊婦診察や分娩に立ち会い、基本的な知識と臨床技能を習得する。婦人科は女性生殖器の解剖・生理・症候を理解し、臨床実習にて診察や手術の立ち会い、基本的な知識と臨床技能を習得する。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. スチューデントドクターとして患者および診療スタッフに良好なコミュニケーションをとることが出来る。
2. 女性を対象としている診療科のため、それに対する十分な気遣いが出来る。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 問診
 - ① 病歴の記載は、問題解決志向型病歴(Problem Oriented Medical Record: POMR)を作るように工夫する。
 - ② 母性の特徴的な病歴と産婦人科的主訴を適切に聴取記載できる。特に月経、月経異常、無月経、不正性器出血、帯下異常、下腹部痛、更年期障害などに関連する生理・病態を理解して適切な問診ができる。
2. 産科（周産期）医療
 - ① 正常妊娠の診断と分娩予定日の決め方を説明できる。
 - ② 妊婦健診で行う外診・超音波検査の基本を理解し、母体・胎児・胎盤などの正常所見を記載できる。
 - ③ 妊娠中の生活指導や母子保健の基本を説明できる。
 - ④ 胎児心拍数陣痛図を見学・装着し、基本的な所見を説明できる。
 - ⑤ 胎盤・臍帯・卵膜および新生児の観察ポイントを説明できる。
 - ⑥ 正常産褥の経過を理解し、基本的な観察項目を記載できる。
 - ⑦ 流産、早産、妊娠高血圧症候群などの異常妊娠について、主な症状・所見・対応を説明できる。
 - ⑧ 分娩遷延、回旋異常、胎児機能不全などの異常分娩について、基本的な所見と対応を説明できる。
3. 生殖医療
 - ① 不妊症の病態を各種検査（基礎体温、子宮卵管造影所見、精液検査、性交後検査、内分泌検査、経膈超音波断層検査など）の所見が理解できる。
4. 婦人科医療
 - ① 月経異常、無月経、不正性器出血、帯下異常、下腹部痛、更年期障害などの婦人科症状について、基本的な病態を説明できる。
 - ② 膣細胞診、膣分泌物検査、尿妊娠検査、腹部・経膈超音波検査などの目的を理解し、基本的な所見を説明できる。
 - ③ 婦人科手術症例について、診断に至った根拠、術前の問題点、手術が必要な理由、他の治療選択肢を説明できる。

【クリニカル・クラークシップB】

- ① クリニカル・クラークシップAで学習した内容を発展させ、クリニカル・クラークシップAの学生を指導することで理解をさらに深める。
- ② 症例検討会において症例の提示を行い、討論に応じられる。

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 手術に助手として参加し、清潔操作、術野の展開、基本的な手術手技を理解できる。
2. 術後経過を観察し、発熱、疼痛、出血、感染などの基本的な術後問題点を説明できる。
3. 学生専用モードを用いて、学生カルテに問診・診察所見・考察を記載できる。

【クリニカル・クラークシップB】

1. 手術の第2あるいは3助手として立ち会うことができる。
2. 特に患者に侵襲がないと考えられる検査的手技に関しては、積極的に助手を務める。
3. シミュレーション実習・科別OSCEにおいてクリニカル・クラークシップAの指導を行う。
4. 症例検討会に参加し、担当症例の病歴、検査所見、診断、治療方針を整理して説明できる。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

指定の指導医に付き診療の補助を積極的に行う。患者症例は学生各自1例以上を担当する。

【クリニカル・クラークシップA】

1. 実習期間は2週間としてやむを得ない理由がない限り全日程出席とする。欠席があった場合は、こちらが指定する課題を行い提出する。
2. 第1週の第1日目の月曜日の8:30に6A病棟のカンファレンスルームに集合し、外来・病棟での診療予定と実習内容の説明を受け、これに基づいて、各自が実習計画を作成する。第1週の第1日目の月曜日が休日の場合は火曜日の8:30に6A病棟のカンファレンスルームに集合する。
3. 診療グループの中で、学生各自が患者を1人以上担当する。症例報告を作成し、提出する。指導医の指導のもとで問診、検査、手術手洗、当直等を通して臨床医療の本質に触れ、計画された行動目標を達成する。ただし、実習生の身分は学生であり、単独行動することなく指導医の指導のもとで行動する。
4. シミュレータを用いて産科・婦人科内診、産科婦人科超音波検査、産科手技の一つである会陰縫合を実習する。また、分娩ファントムを用いて分娩の生理や病理を理解する。
5. 実習自己評価表を用いて学習到達度を自己評価する。

指導体制

実習責任者	渡辺員支教授，大須賀智子教授		
指導医	仲西 菜月 講師 西子 裕規 助教 岡本 宜士 助教 梶 優太 助教	篠原 康一 教授 松川 哲也 助教 岡本 知士 助教 藤盛 允章 助教	幸村 友希子 講師 安井 裕子 助教 藤本 裕基 助教 杉浦 一優 助教
相談医	岡本 知士 助教	仲西 菜月 講師	

【クリニカル・クラークシップB】

1. 実習期間は4週間としてやむを得ない理由がない限り全日程出席とする。
2. 集合場所等はクリクラAに準拠する。
3. 学生各自が患者1人以上を担当する。指定の指導医に付き指導医のもとで問診、検査、手術手洗、回診や症例検討会での受持患者紹介、当直等を通して臨床医療として計画された行動目標を達成する。

クリニカル・クラークシップBでは、積極的に、侵襲を与えない検査や診察に参加する。産科では超音波検査やノンストレス・テスト、レオポルド診察や産褥子宮底触診など、婦人科では術後回診や創傷処置や検査オーダーなどを行い、カルテ記載も行う。特に、産科診察は国家試験にも必ず取り扱われるので、シミュレータを用いて、重点的に行う。ただし、実習生の身分は学生であり、単独行動することなく必ず指導医の指導のもとで行動する。

4. 水曜日の症例検討会に参加し指導医のもとで担当患者について検討、報告ができるようにする。
5. 同時期に実習しているクリニカル・クラークシップAの学生に対して、屋根瓦式指導を行い、学習の一助とする。具体的には、外来問診時のカルテ入力や症例検討会において担当症例の発表、総回診時に患者のプレゼンテーションの指導を行う。

3 実習の評価方法

1. 自己評価表で自己評価する。
2. 上記および実習中の態度、知識、技能などから総合的に評価する。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名		
教 授	渡辺 員支	大須賀 智子	
特任教授	篠原 康一		
講 師	幸村 友希子	仲西 菜月	
助 教	西子 裕規	安井 裕子	松川 哲也
	藤本 裕基	岡本 知士	岡本 宜士
	杉浦 一優	梶 優太	藤盛 允章
学生担当	仲西 菜月	藤本 裕基	梶 優太

5 連絡先

場所（内線）	産婦人科医局（22153）
	藤本 裕基(80211)，梶 優太（80237）
E-mail	obgyn@aichi-med-u.ac.jp

【初日の集合時間／場所】

8:20／6A カンファ

【祝日の場合】※火曜日

8:30／6A 病棟

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

[第1週]

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	8:30 オリエンテーション 実習計画作成 手術実習	藤本裕基 梶 優太 仲西/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	6A カンファ 手術室	13:00 手術実習	仲西/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室
火	9:30 シネ・ファーマコロジー (ドラマ視聴・講義)	安井裕子 松川哲也	6A カンファ	14:30 シミュレーション実習 16:00 抄読会	仲西/松川 藤本/岡本知 岡本宜/杉浦 藤盛	6A カンファ
水	A 班 感染症科実習※ B 班 9:00 外来実習 病棟実習	 篠原/幸村 仲西/西子 松川/藤本 岡本知/梶 藤盛	 外来	14:00 症例検討会	渡辺員支	6A カンファ
木	A 班 感染症科実習※ B 班 9:00 外来実習 病棟実習	 大須賀/幸村 仲西/西子 松川/藤本 岡本宜/杉浦 藤盛	 外来	12:30 外来基本技能実習	藤本	外来
金	8:30 手術実習	仲西/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室	13:00 手術実習	仲西/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室

※ 感染症科実習の詳細は「感染症科」の頁を確認すること。

[第2週]

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	8:30 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室
火	9:30 シネ・ファーマコロジー	安井裕子 松川哲也	6A カンファ	14:30 シミュレーション実習 科別 OSCE 16:00 抄読会	大須賀 幸村/仲西 西子/松川 藤本/岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	6A カンファ
水	A 班 9:00 外来(予診) 病棟実習 B 班 感染症科実習※	篠原/幸村 仲西/西子 松川/藤本 岡本知/梶 藤盛	外来	14:00 症例検討会	渡辺員支	6A カンファ
木	A 班 9:00 外来(予診) 病棟実習 B 班 感染症科実習※	大須賀 幸村/仲西 西子/松川 藤本/岡本宜 杉浦/藤盛	外来	13:00 レポート作成 16:00 口頭試問	 渡辺員支	 医局
金	8:30 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 杉浦/梶 藤盛	手術室	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 杉浦/梶 藤盛	手術室

※ 感染症科実習の詳細は「感染症科」の頁を確認すること。

備考

- (1) あくまで予定であり、開始時間は状況に応じて適宜、変更することがある。
- (2) 分娩実習は、上記の予定に関わらず、随時優先して行う。
- (3) 担当医の指示のもと行動する。
- (4) 当直実習は希望時に行う。
- (5) 基本的に 17:00 には実習を終了する。
- (6) レポートチェックは適宜指導医よりチェックを受ける。

クリニカル・クラークシップB 週間予定表

【初日の集合時間／場所】

8:30／6A カンファ

【祝日の場合】※火曜日

8:30／6A 病棟

[第1・3週]

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	8:30 オリエンテーション 実習計画作成 指導医担当振り分け	藤本 裕基 梶 優太	6A カンファ	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室
火	9:00 専門外来見学,予診 クリニック A レポート指導	幸村有希子 西子裕規	外来	14:30 科別 OSCE 16:00 抄読会	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	6A カンファ
水	9:00 病棟・外来実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知/梶 藤盛	6AB 病棟	13:00 特別講義 *適宜日時変更あり 14:00 症例検討会 症例プレゼンテーション	幸村友希子 渡辺員支	6A カンファ 6A カンファ
木	9:00 病棟・外来実習	幸村/仲西 西子/松川 藤本/岡本宜 杉浦/藤盛	6A・B 病棟	13:00 特別講義 2 *適宜日時変更あり 病棟実習	仲西菜月	6A カンファ 6A・B 病棟
金	8:30 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 岡本宜/杉浦 梶/藤盛	手術室 6A・B 病棟

[第2・4週]

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	8:30 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 梶/藤盛	手術室	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 梶/藤盛	手術室
火	9:00 専門外来見学, 予診	幸村有希子 西子裕規	外来	14:30 科別 OSCE 16:00 抄読会 (4週目に発表)	仲西菜月 安井裕子	6A カンファ
水	9:00 病棟実習	幸村/仲西 西子/松川 藤本/岡本知 梶/藤盛	外来	14:00 症例検討会 症例プレゼンテーション	渡辺員支	6A カンファ
木	9:00 病棟実習	幸村/仲西 西子/松川 藤本/岡本 杉浦/藤盛	6A・B 病棟	12:30 講義(国試病理, 画像, CTG)	藤本裕基	6A・B 病棟
金	8:30 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 梶/藤盛	手術室 6A・B 病棟	13:00 手術実習	幸村/仲西 西子/安井 松川/藤本 岡本知 梶/藤盛	手術室 6A・B 病棟

備考

- (1) 分娩実習, 緊急手術は, 上記の予定に関わらず, 随時優先して行う。
- (2) 指導医の指示のもと行動する。
- (3) シミュレーション実習・科別 OSCE ではクリニカル・クラークシップ A の指導も行う。
- (4) 実習内容や実習開始時間は, 適宜変更がある。
- (5) 当直実習は希望時に行う。
- (6) 基本的に 17:00 には実習を終了する。
- (7) 2 週目終わりまでに問題点を挙げ, 3 週以降の課題を決め, 実習計画を立案する。

【病院見学の取り扱い】

- ・ 許可願により許可された実習日については, 出席したものとして取扱います。
- ・ 病院見学等は, 1 クールにつき 2 回(原則として 1 日。愛知県, 岐阜県, 三重県, 静岡県は移動日含め連続した最大 2 日間。その他都道府県の場合は移動日含め連続した最大 3 日間)までとし, 全クールを通して最大 4 回までとする。
- ・ 原則として, 各クールの第 2 週もしくは第 3 週目の中で病院見学等を行うこと。
- ・ 必ず当該実習科教授の承認を得た上で, 病院見学を希望するクールの実習初日の 2 週前の金曜日まで教務課へ届け出ること。